

令和4年度 鏡が丘特別支援学校
学校評価



令和4年9月16日～10月7日実施

令和5年2月



沖縄県立鏡が丘特別支援学校

令和4年度 学校評価及び各アンケート分析と考察

沖縄県立鏡が丘特別支援学校
学校評価委員会

I はじめに

本校では学校評価の結果を分析・検討・周知し、年度内に学校運営改善に活用するため9月～10月に学校評価を実施している。その結果を受け、どのような取り組みをするべきかの提案を行った。

今年度の学校評価における各アンケートの集計結果を分析・考察し、各部署で課題の共有を図り、必要な項目について説明や改善策の検討を行った。また、教職員の設定記述（業務改善に関するアイデア、要望等）や保護者からの意見については学校評価委員会で確認・検討し、回答をまとめた。

今後は、職員会議（各学部・部署）での課題解決へ向けた提案、学校評議員への報告、学校評議員による学校評価と助言を加え授業参観で保護者や関係者に提示するとともに、3月下旬に学校ホームページで公開する予定である。

II アンケートの概要

1 教職員（教諭等・事務現業）自己評価及び保護者・児童生徒のアンケートの概要

今年度は教職員（教諭等・事務現業）・保護者・児童生徒のアンケートにおいて4つの大項目「学校経営、学習活動、健康安全、その他」に分けて実施した。教諭等用と保護者用では、評価項目の順序や内容の統一化を図り、それぞれの視点での評価を比較検討できるようにした。事務現業部については評価項目を精選して調査を行った。さらに全てのアンケートに対し、昨今の新型コロナウイルス感染症を踏まえた項目を設けている。教職員の自由記述に関しては「業務改善に向けたアイデア」として設定して意見を集約した。

2 アンケート集計について

教諭等116名、事務現業部職員32名（会計年度任用職員含む）に無記名のアンケートを依頼し、全員から回答が得られた（回収率100%）。小中高の保護者104名においては無記名アンケートを配布して回答を依頼し、49名から回答が得られた（回収率47.1%）。保護者の回収率向上については課題として捉え、回答期間内の呼びかけを増やすなど実効性のある対策が必要である。

児童生徒については、小学部から高等部までのI課程・II課程Aの児童生徒24名にアンケートを実施（必要な児童生徒については教師が設問を説明）し、全員から回答（回収率100%）が得られた。（表1）。

※教職員に対してはOffice365 Formsを利用して集計した。保護者においてはお知らせとアンケート用紙を配布し、あわせてお知らせの中にFormsとリンクするQRコードを掲載した。

表1 今年度対象者と回収率

	対 象	対象数(名)	回収数	回収率
教諭等	校長 教頭 小中高 寄宿舎 実習助手	116	116	100% (100%)
事務現業	養護教諭 事務現業職員 会計年度任用職員	32	32	100% (100%)
保護者	全保護者	104	49 小 27 中 7 高 15	47.1% (58%)
児童生徒	I 課程・II 課程 A	24	24 小 5 中 4 高 15	100% (100%)

【（ ）内の数値は令和3年度結果】

Ⅲ アンケートの分析及び考察

アンケート結果（パーセンテージ）より「◎よくあてはまる」と「○ややあてはまる」を良好な評価（以下、「良好な評価」とする）として、「△あまりあてはまらない」と「×全くあてはまらない」を検討の必要な評価（以下、「検討が必要な評価」とする）で捉えている。

以上をふまえ、アンケートの集計結果をもとに「教諭等と保護者の考え方の比較」「事務現業職員の結果」「児童生徒の結果」として分類し、アンケート結果と一年間の学校運営の状況と関連付けて分析・考察を行う。

1 教諭等と保護者のアンケート分析及び考察

アンケート結果をもとに教職員と保護者の考え方を比較していく。教諭等と保護者の評価を比較することで、考え方や認識の違いを把握し、学校運営の改善に繋げることができると考える。

比較対象として「教諭等と保護者の集計結果の総数の比較」、「大項目（学校経営、学習活動、健康安全）の教職員と保護者の比較」「特筆すべき項目」の3点に焦点をあてた。これらの比較を行うことで学校の改善点を明確にしていく。また、昨年度の結果も合わせて参照することで、学校の現状を把握しより良い改善をめざす。

（1）教諭等と保護者の集計結果の総数の比較

評価	教諭等		保護者	
	◎よくあてはまる	○ややあてはまる	◎よくあてはまる	○ややあてはまる
◎よくあてはまる	53.3% (48.4%)	93.0% (92.8%)	60.8% (62.3%)	88.8% (89.7%)
○ややあてはまる	38.1% (39.7%)		28.0% (27.4%)	
△あまりあてはまらない	5.2% (6.1%)	5.5% (6.3%)	2.8% (3.1%)	3.4% (3.1%)
×全くあてはまらない	0.3% (0.2%)		0.6% (0.0%)	
?わからない	1.6% (1.0%)		7.8% (7.2%)	

【（ ）内の数値は令和3年度結果】

全体として教諭等 93.0%、保護者 88.8%が「良好な評価」だった。令和3年度と比較すると「良好な結果」「検討が必要な評価」ともに1%以内の増減であり、概ね同様の結果となった。ただ、保護者の「?わからない」の割合が7.8%あることに留意する必要がある。

（2）大項目（「学校経営」「学習活動」「健康安全」）の教職員と保護者の比較

大項目	教諭等		保護者	
	◎よくあてはまる	△あまりあてはまらない	◎よくあてはまる	△あまりあてはまらない
学校経営	90.9% (92.2%)	1.2% (0.8%)	90.8% (92.4%)	5.8% (5.2%)
学習活動	88.4% (92.4%)	1.9% (0.6%)	89.8% (91.3%)	5.8% (6.2%)
健康安全	97.6% (95.3%)	0.4% (0.2%)	85.8% (87.4%)	11.8% (11.3%)

【（ ）内の数値は令和3年度結果】

教諭等、保護者とも概ね「良好な評価」であった。

教諭等の「良好な評価」においては、令和3年度と概ね同様の傾向といえる。また、「わからない」が増加していることについては、対策が必要であると考えられる。

保護者の「良好な結果」においては85%～91%と悪くないが、昨年度より割合が減少していることに留意する必要がある。詳細については後述する。また、「わからない」の回答も依然5%以上あり、教諭等同様に対策が必要である。

尚、3つの大項目の内、「検討が必要な評価」が10%を超えるものはなかった。

(3) 特筆すべき項目について

① 昨年度と比較して「検討が必要な評価」の割合が減少している項目 (改善された項目)

※概ね5%以上減少している項目を抽出

NO.	評価項目	検討が必要な評価	
		教諭等	保護者
3	ホームページやマチコミメール、公文等で家庭に必要な情報を適切に伝えている。	3.4% (8%)	0.0% (5%)
教15 保14	新型コロナウイルス感染症対策について、安全安心な対策が取られている。	3.4% (11%)	6.1% (0%)

【()内の数値は令和3年度結果】

評価項目3について、教諭等・保護者ともに改善がみられた。令和3年度同様、コロナ禍のため保護者が来校できる機会は限定的であったが、学校全体で情報発信に努めた成果であると考えられる。今年度は特に、マチコミメールの登録状況調査や登録の促しを積極的に行い、活用頻度の向上を図ったことが要因であると考察される。一方で、後述する(3)③のように、一部の情報については保護者から発信不十分と評価されている結果もあり、発信する情報の内容や方法に課題がないか精査する必要がある。

評価項目15(保護者14)では教諭等の評価で大きく改善がみられた。一方で、保護者の評価では逆の結果となった。この要因としては、オミクロン株の流行により本校でも感染者が増えたこと、また、国や県の方針が段階的に緩和される中で保護者との情報共有に行き違いが生じたことなどが挙げられる。実際は、県の指針に則り「ハイリスク施設」として厳格な感染対策を講じている本校であるが、国や県の対応が緩和されるタイミングで、保護者との情報の行き違いがあったことも事実である。今後も、コロナ対応の動向を注視しつつ、児童生徒の安全安心を確保しながら保護者の理解を得られるよう、時機を逃さない適切な情報提供を継続していく必要がある。

② 昨年度と比較して「検討が必要な評価」の割合が増加している項目 (対応を検討すべき項目)

※概ね5%以上増加している項目を抽出

NO.	評価項目	検討が必要な評価	
		教諭等	保護者
10	「通知表」(舎職員は「個別の生活指導計画」)は、児童生徒の学習の様子を適切に評価できるように工夫されている。	12.1% (5%)	2.0% (3%)
教15 保14	新型コロナウイルス感染症対策について、安全安心な対策が取られている。	3.4% (11%)	6.1% (0%)

【()内の数値は令和3年度結果】

評価項目10について、教諭等については大きく数値が増加(7.1%増)している。これは、学習指導要領の改訂により、今年度から県内全特別支援学校において学習評価の観点が見直しされ、通知表の記述方法も変更されたことが大きな要因であると考えられる。ただ、アンケートを実施した9月以後も校内研修等を重ねたことで、先生方に新たな記述方法が浸透してきている状況がある。これについては、今後も研修を重ねるとともに、県や本校担当部署が作成している評価の手引きの活用を図るなど、今後も取り組みを継続していくことで改善が期待できる。尚、保護者の評価は令和3年度より改善していることから、今後も、適切な学習評価と伝わりやすい通知表の作成に向け取組を継続していく。

評価項目15(保護者14)の分析・考察については①で述べた通りである。

③ 教職員または保護者のどちらかで「検討が必要な評価」の割合が10%以上ある項目

NO.	評価項目	検討が必要な評価	
		教職員	保護者
教6	(教職員のみ)の設問)業務改善に向けた取組を全職員で協力して推進できている。	18.1% (15%)	—
教7 保6	施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。	21.5% (20%)	12.2% (9%)
教10	「通知表」(舎職員は「個別の生活指導計画」)は、児童生徒の学習の様子を適切に評価できるように工夫されている。	12.1% (5%)	2.0% (3.0%)
教12 保11	将来の進路や職業などについて参考となる情報を提供している。	12.1% (15%)	8.2% (6%)
教13 保12	【教】社会に開かれた教育課程(交流及び共同学習・地域人材の活用等)の実現に向け、家庭や地域と連携・協働した学習活動を展開している。 【保】家庭や地域と連携した学習活動が展開されている。	15.8% (19%)	10.2% (10%)

【()内の数値は令和3年度結果】

評価項目6は昨年度より新設した項目である。昨今「働き方改革」や「業務改善」の動きが加速しており、本校においても管理職・教務部を中心に学校の業務改善に努めている。昨年度以前から取り組んできた会議・研修の精選に加え、今年度は週2回以上のノー会議デイ(教材研究日)や週1回のノー残業デイを設け、校務のICT化も推進してきた。職員の設定記述の中には、これらの取り組みを評価する声がある一方、(3)②で前述したとおり、評価項目10と関連して学習評価方法の変更による負担感増が影響していると考察される。対策としては、今後も学習評価についての研修を重ねるとともに、県や学校で作成している評価の手引きの活用を図るなど、取り組みを継続した上でどのような影響が出るのか注視していく。また、職員一人一人も「学校の運営に携わっている」という意識をもち、業務改善に向けたアイデアを出し合える職場環境の構築に向け引き続き取り組みを推進していく。

評価項目7(保護者6)は、校舎の老朽化に伴って毎年挙げられる課題である。特に今年度は、空調の故障が例年以上に頻発したことから、令和3年度よりも評価が下がっていると考察される。これについては、長年、県へ実情を訴えてきたところ、令和5年度から大規模な改修工事が決定している。その他の改修についても引き続き県へ要望するとともに、児童生徒の学習環境の整備及び施設・設備の適正な維持管理を引き続き図っていく。

評価項目12(保護者11)は、教諭等の評価が約3%改善しているものの、依然高い数値である。また、保護者の評価は「検討を要する」として2.2%増加している。学校としては、進路便りを配付し、ホームページにも掲載しているが、コロナ禍のため校内での保護者懇談会や進路情報関連の掲示物の閲覧ができないことが要因として推察される(コロナ禍前・令和元年度は3%)。いずれにせよ、充実した取り組みが一層伝わるよう、発信方法の多様化など具体的な対策を講じる必要がある。

評価項目13(保護者12)は改訂学習指導要領において「社会に開かれた教育課程の実現」が示されていることを受け、令和2年度より設定した項目である。保護者の評価は横ばいであるが、校外学習や修学旅行、直接的な交流学习等を再開できたことで、教諭等の評価が約3%改善している。今後は、オンライン交流等の新たな交流方法も取り入れつつ、ウィズコロナ・アフターコロナに向けて、地域の人的・物的資源の活用並びに地域社会との交流を本格的に再開していく必要がある。

④ 保護者の「?わからない」が多い項目 ※概ね10%以上ある項目を抽出

No.	評価項目	? わからない	
		R4 (R3)	コロナ前 (R1)
6	学校は施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。	22.4%(13%)	6%
11	将来の進路や職業などについて参考となる情報を提供している。	14.3%(10%)	7%
12	家庭や地域と連携・協力した学習活動が展開されている。	10.2%(13%)	設問なし
15	給食(舎食)は、子どもが食べやすく栄養を考えて提供されている。	16.3%(12%)	13%
16	火災・地震避難訓練や不審者侵入対策及び交通安全への対応を十分行っている。	18.4%(18%)	18%
17	登下校に関して、送迎時の駐車場誘導は安全に行われている。 (スクールバスの運行は安全に行われている。) R1: スクールバスの運行が安全に行われている。	18.0%(14%)	30%
18	学校の徴収金等は、明朗な会計処理が行われている。	12.2%(9%)	6%

【()内の数値は令和3年度結果】

「わからない」の比率が高い項目について、コロナ禍前の令和元年度の数値も併せて表記した。その中で、**評価項目6・11**については顕著に数値が増加しており、来校機会の減少が影響していると考察できる。**評価項目18**についても、保護者面談時間の制限等により、書面による会計報告が増えていることが要因として挙げられる。今後は、面談の際に丁寧な説明が図れるよう体制を整えていく。

一方で、**評価項目15・16**についてはコロナ禍前後で5%以上の増減がないことから、周知や発信の方法について根本的な対策を要すると考察される。実際は、食育及び安全教育について年間指導計画を策定し、充実した指導を行っているが、他の教育活動と比較して発信が弱いことは否めないため、具体的な対策を講じていく必要がある。

評価項目17については、令和3年度より登下校の駐車場誘導について文言を追加したことから「わからない」の回答は減少傾向にある。しかしながら、依然高い数値で推移していることから、来校機会が少ない保護者については答えにくい質問であると推察される。こちらについても、評価項目16・17同様発信方法を工夫していく必要がある。

2 事務現業部のアンケート分析及び考察

令和3年度より事務現業部のアンケート項目を整理し、教諭等、保護者と同様に4つの大項目「学校経営、分掌事務、健康安全、その他」に分けて実施した。また、評価項目が20項目あったが、今年度は11項目に精選した。大項目「分掌事務」の内容以外を教諭等と統一することで同じ目線で学校評価をとり、分析及び考察を行うことで円滑な学校運営の推進・改善に繋げていく。

(1) 事務現業部の集計結果の割合

評価	事務現業部	
◎よくあてはまる	33.8% (35.4%)	良好な評価 81.2% (88.7%)
○ややあてはまる	47.4% (53.3%)	
△あまりあてはまらない	6.0% (6.0%)	検討が必要な評価 6.0% (6.0%)
×全くあてはまらない	0.0% (0.0%)	
?わからない	12.8% (5.3%)	

【()内の数値は令和3年度結果】

「良好な評価」が81.2%と令和3年度より減少し、「わからない」が12.8%増加した。「検討が必要な結果」は令和3年度と同じ6.0%であった。

(2) 大項目（「学校経営」「分掌事務」「健康安全」）の割合

大項目	良好な評価	わからない
学校経営	78.1% (85.2%)	12.5% (7.4%)
分掌事務	76.0% (87.4%)	19.8% (5.1%)
健康安全	90.1% (96.3%)	9.4% (2.2%)

【()内の数値は令和3年度結果】

各項目ともに、(1)同様、「良好な評価」が減少し、減少した分だけ「わからない」の回答が増加したと言える。

学校経営及び健康安全については、コロナ禍による職員間の直接的な交流や情報交換の機会の減少に加え、校務のICT化が影響していると考えられる。その理由として、一部の会計年度職員については業務の性質上、業務に必要な範囲においてのみパソコンを使用する職員、又はパソコンを使用しない職員がおり、職員の情報掲示板等を閲覧していないことが推察される。同じ職場の仲間であり、チームとしてより円滑な業務の遂行を図るためにも、共有パソコンによる情報閲覧の呼びかけやマチコミメールの登録推進等、情報共有の促進を一層図っていく必要がある。

分掌事務については、業務の特性上、事務現業部内で各々の職種以外について協働したり見聞きたりすることが少ないため、学校評価の趣旨に沿って設問を改善する必要があると考えられる。

尚、3つの大項目の内、「検討が必要な評価」が10%を超えるものはなかった。

(3) 「検討が必要な評価」の割合が10%以上ある項目

NO.	評価項目	検討が必要な項目
5	施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。	28.1% (12.3%)

【()内の数値は令和2年度結果】

評価項目5は、教諭等・保護者と同様、「検討が必要な評価」として高い回答率であった。対策としては、1の(3)③で述べた通りである。

3 児童生徒のアンケート分析及び考察

児童生徒のアンケートは3つの大項目（「学校や先生に関すること」「授業に関すること」「健康・安全に関すること」）に分け、回答可能な生徒24名（小学部5名・中学部4名・高等部15名、全児童生徒の約23%）を対象に実施した。アンケート結果を分析及び考察し、日頃の学級経営や授業改善に活かしていく。

尚、アンケート対象となる児童生徒は全体の約2割であることも踏まえ、その他の児童生徒に対する教育活動についても、授業評価及び学習評価として年間を通し適切に実施していく。

（1）児童生徒の集計結果の割合

評価	児童生徒	
◎よくあてはまる	60.3% (66.4%)	良好な評価 83.6% (87.6%)
○ややあてはまる	23.3% (21.2%)	
△あまりあてはまらない	8.1% (6.1%)	検討が必要な評価 10.0% (8.3%)
×全くあてはまらない	1.9% (2.2%)	
?わからない	6.4% (5.1%)	

【（ ）内の数値は令和3年度結果】

全体として83.6%が「良好な評価」であったが、昨年度と比較して4%減少し、「検討が必要な評価」の割合が1.7%増加しており、学校運営、学級経営、授業の在り方などを検証する必要がある。特に、「検討が必要な評価」が1割に達していることから、要因の分析・考察について一年間の教育活動と関連付けて（2）以降に詳述する。

「わからない」と回答した児童生徒の数値も1.3%増加していた。

（2）大項目（「学校や先生に関すること」「授業に関すること」「健康安全に関すること」）の割合

大項目	良好な評価	わからない
学校や先生に関すること	83.8% (88.2%)	6.2% (5.4%)
授業に関すること	82.4% (83.4%)	8.3% (5.3%)
健康安全に関すること	86.1% (92.2%)	3.5% (4.4%)

【（ ）内の数値は令和3年度結果】

全ての項目において「良好な評価」が80%を超えているものの、前年度より数値が減少している。

（3）「検討が必要な評価」の割合が10%以上ある項目

【（ ）内の数値は令和3年度結果】

NO.	評価項目	検討が必要な項目
1	学校に行くのが楽しい。	20.5% (6%)
7	担任の先生の他にも、気軽に相談や話のできる先生がいる。	20.9% (12%)
9	(小学部) 児童会活動は、いろいろな活動があり楽しい。 (中・高等部) 生徒会活動は、いろいろな活動や交流を工夫して行うことができている。	12.5% (12%)
10	学校はていねいにそうじされていて、きれいである。	12.5% (3%)
13	先生は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる。	16.7% (3%)
15	授業では、友だちと話し合いや相談などをする活動がある。	12.5% (22%)
20	給食は栄養が考えられていて、おいしい。	12.5% (3%)
21	地震や火事的时候はどうすればよいか授業などで習い、よく知っている。	16.7% (0%)

前年度と比較して10%前後増加した項目として、**評価項目1・7・21**があった。特に、**評価項目1・7**は、児童生徒の学校生活の充実に直接的に関わる質問であるため、結果をより真摯に受け止める必要がある。今年度の児童生徒の状況から推察すると、思春期に差し掛かり悩みをもつ生徒が多く、そのことも大きく影響したと考えられる。学校としては、スクールカウンセラー等を活用して教育相談体制を整えたが、評価項目7からは、担任以外に気軽に相談できる校内体制について不十分であったと考察される。児童生徒が楽しく安心して学校生活を送れるよう、各学部及び寄宿舍、関連部署で体制を見直していく。

評価項目9については、コロナ禍において学校・学部全体での行事が継続的に制限されている状況が影響していると考察される。各学部とも、オンライン学習等で制限を補えるように努めているが、それでもなお児童生徒にとっては物足りなさを感じている可能性が示唆された。今後は、ウィズコロナ・アフターコロナに向け、活気にあふれた児童会・生徒会活動が戻ってくるよう、教育活動を再検討していく。

評価項目10は、実数としては3名の回答ではあるが、真摯に受け止めて校内美化の在り方を再検討していく必要がある。一方で、本校では校内の清掃を原則教師が行っているため、今回の結果も踏まえ、生活科や職業科、特別活動等の学習の中で、児童生徒自身が清掃する場面を設定し、自分たちが学ぶ場は自分たちできれいにする心を育てていきたい。

評価項目13・21については、道徳教育や安全教育の方法についての指導方法を見直し、関係部署や各学級における指導の充実を図る必要がある。また、高等部の一部の課程においては、教育課程上道徳科の授業がないため、特別活動や総合的な探究の時間を活用し、心の教育の充実を図っていく。

評価項目20については、回答した児童生徒の食の好みも影響していると推察されるが、バランスの良い食生活の学習等、食育の充実についても一層の強化を図っていく。

「検討が必要な評価」項目の中で唯一、改善傾向にあった項目として**評価項目15**が挙げられる。コロナ禍において大きな集団での学習は制限があったものの、授業の中で各教師が意識して対話的な活動を設定したことがうかがえる。一方で、学習グループ上、教師と1対1で授業を実施している児童生徒も少なからずいるので、今後も工夫を継続しながら、コミュニケーション能力や社会性の向上を図っていく。

IV 学校評議員の助言

第3回学校評議員会において、上記の結果を報告したところ、下記の通り助言があった。

1 座間味恵利子評議員より

- ・学習評価の改善（校内マニュアル作成）等、今やるべきことに対応できていると感じた。
- ・施設設備の維持管理に関する取り組みは、コロナで校舎への出入りが制限されていることなどで評価が低く出ているであろう。
- ・進路に関する情報については、同じ情報でも、小・中・高の保護者で受け止め方はそれぞれ違うはず。それぞれの段階で保護者が今欲しい情報を見極めて提供したり、先輩保護者から学ぶ機会を作ったりすることなども重要だと思う。
- ・対話的な学習の取り組みは子ども達に伝わっている。素晴らしいので今後も継続してください。
- ・ノー残業デーなどの取り組みを継続し、職員が自分自身の時間も大切にできるようにしてほしい。職員が穏やかで明るく元気があるからこそ良い教育ができると思う。
- ・学校評議員などに学校評価をしてもらうときには、外部の方にも学校の現状がわかりやすいような資料や説明方法が必要である。意識してほしい。

2 大城千佳評議員より

- ・給食に関して、保護者への発信充実の一環として、給食試食会の再開を期待したい。
- ・児童生徒の「担任以外に気軽に相談できる先生がいない」ことについて、特別支援学校で勤務経験のない職員をどのようにフォローしているか？そのような先生方のフォロー体制を作っていくことで、

子ども達も相談しやすくなると思われる。

3 根路銘安也評議員

- ・児童生徒の No. 1 や No. 7 の評価項目について、アンケートを取りっぱなしではなく、その児童生徒を特定し、実際に生徒の悩みを解決していくことが重要だと思う。
- ・児童生徒だけではなく職員のフォロー体制も整え、職員が楽しく働くことも大切だと思う。
- ・身近で小さなことの積み重ねが大きな改善につながるので、できることから検討してください。

4 金城歩未評議員より

- ・在学中は、鏡が丘の児童生徒は担任以外の先生と相談できる環境が少ないと感じていた。また、同世代の友達が少なく、本音を言い合う機会も少ない。スクールカウンセラーや知り合いの先輩などを学校に招き、いろいろ話せる機会があれば、楽しい学校生活が送れると思う

5 城間園子評議員より

- ・鏡が丘の感染対策は素晴らしい。オンラインだからできることを多く学んだはずなので、次年度以降は対面でできることを増やして行って欲しい。
- ・お互いの頑張りを共有して認め合う場を作っていく視点も、働き方改革につながると思う。単に会議等を減らすだけではなく、効果的、効率的な方法を模索して行って欲しい。
- ・医ケア児への対応等、地域のセンター校として一層の役割発揮を期待している。

〈令和4年度 学校評価 各学部・寄宿舎・管理職用〉

◎：よくあてはまる ○：ややあてはまる △：あまりあてはまらない ×：全くあてはまらない ?：わからない

※教職員は全てFormsによる集計 回答116/116名

単位：% 一人=0.82%

No.	評 価 項 目	評価欄				
		◎	○	△	×	?
学校経営	1 本校の教育目標を意識し、児童生徒一人一人の「自立と社会参加」に向けた教育活動を行っている。	48.3	45.7	3.4	0.0	2.6
	2 全教職員が協力し合って、教育活動を推進している。	55.2	40.5	4.3	0.0	0.0
	3 ホームページやマチコミメール、公文等で家庭や地域に必要な情報を適切に伝えている。	61.2	32.8	3.4	0.0	2.6
	4 学習の様子や内容を懇談・学校便り・学級(学年)通信等で適切に知らせている。	55.2	40.5	2.6	0.0	1.7
	5 保護者が子どもの様子について連絡・相談したことについて適切に対応を行っている。	64.7	32.8	1.7	0.0	0.9
	6 業務改善に向けた取組を全職員で協力して推進できている。	33.6	47.4	16.4	1.7	0.9
	7 施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。	38.8	39.7	18.1	3.4	0.0
学習活動	8 教職員は個別の教育支援計画や個別の指導計画(舎職員は「個別の生活指導計画」)を、児童生徒の実態を適切に把握し作成している。	48.3	50.9	0.9	0.0	0.0
	9 児童生徒一人一人に、丁寧に適切な指導及び支援を行っている。	60.3	37.1	2.6	0.0	0.0
	10 「通知表」(舎職員は「個別の生活指導計画等」)は、児童生徒の学習の様子を適切に評価できるように工夫されている。	38.8	43.1	12.1	0.0	6.0
	11 児童生徒が進んで学習活動に取り組めるように、教材や授業の進め方を工夫している。	53.4	46.6	0.0	0.0	0.0
	12 将来の進路や職業などについて参考となる情報を提供をしている。	37.9	46.6	12.1	0.0	3.4
13 社会に開かれた教育課程(交流及び共同学習・地域人材の活用等)の実現に向け、家庭や地域と連携・協働した学習活動を展開している。	22.8	59.6	15.8	0.0	1.8	
健康安全	14 健康な生活を送るため、保健指導や健康教育に取り組んでいる。	55.2	43.1	0.9	0.0	0.9
	15 新型コロナ感染症対応に関して、安全安心な対策が行われている。	67.2	29.3	3.4	0.0	0.0
	16 給食(舎食)は、児童生徒が食べやすい食形態等で提供されている。	83.6	16.4	0.0	0.0	0.0
	17 火災・地震避難訓練や不審者侵入対策及び交通安全への指導・対策を十分行っている。	55.2	40.5	3.4	0.0	0.9
その他	18 徴収金等に関して会計マニュアルに沿った、明朗な会計処理を行っている。	71.6	25.0	0.0	0.0	3.4
	19 必要に応じた校内研修が計画的に取り組まれている。	56.0	37.1	2.6	0.9	3.4
	20 全職員が協働し、法令遵守の徹底(個人情報の保護等含む)に全力で取り組んでいる。	57.8	39.7	0.0	0.0	2.6
	平均	53.3	39.7	5.2	0.3	1.6

〈令和4年度 学校評価 事務現業部用〉

◎：よくあてはまる ○：ややあてはまる △：あまりあてはまらない ×：全くあてはまらない ?：わからない

※教職員は全てFormsによる集計 回答32/32名

単位：% 一人=3.125%

	No.	評価項目	評価欄				
			◎	○	△	×	?
学校経営	1	本校の教育目標を意識し、児童生徒一人一人の「自立と社会参加」に向けた教育活動を行っている。	28.1	56.3	6.3	0.0	9.4
	2	全教職員が協力し合って、教育活動を推進している。	40.6	53.1	0.0	0.0	6.3
	3	ホームページやマチコミメール、公文等で家庭や地域に必要な情報を適切に伝えている。	40.6	21.9	3.1	0.0	34.4
	4	業務改善に向けた取組を全職員で協力して推進できている。	28.1	53.1	9.4	0.0	9.4
	5	施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。	21.9	46.9	28.1	0.0	3.1
分掌事務	6	業務処理の正確性、計画性を図ることができている。	31.3	43.8	6.3	0.0	18.8
	7	事務現業部全体で協働体制がとれている。	37.5	37.5	3.1	0.0	21.9
	8	来客、電話対応は適切に行うことができている。	46.9	31.3	3.1	0.0	18.8
健康安全	9	新型コロナウイルス感染症対応に関して、安全安心な対策が行われている。	43.8	56.3	0.0	0.0	0.0
	10	火災・地震避難訓練や不審者侵入対策及び交通安全への指導・対策を十分行っている。	28.1	53.1	6.3	0.0	12.5
その他	11	全職員が協働し、法令遵守の徹底(個人情報保護等を含む)に全力で取り組んでいる。	25.0	68.8	0.0	0.0	6.3
平均			33.8	47.4	6.0	0.0	12.8

〈令和4年度 学校評価 保護者用〉

◎：よくあてはまる ○：ややあてはまる △：あまりあてはまらない ×：全くあてはまらない ?：わからない

回答49/104名

単位：% 一人≒2.04%

No.	評価項目	評価欄				
		◎	○	△	×	?
学校経営	1 学校は、児童生徒一人一人の「自立と社会参加」に向けた教育活動を行っている。	63.3	32.7	2.0	0.0	2.0
	2 学校の全教職員が協力し合って、教育活動を推進している。	67.3	22.4	2.0	0.0	8.2
	3 学校はホームページやマチコミメール、公文等で家庭や地域に必要な情報を適切に伝えている。	63.3	34.7	0.0	0.0	2.0
	4 学校は学習の様子や内容を懇談・学校便り・学級(学年)通信等で適切に知らせている。	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0
	5 学校は保護者が子どもの様子について連絡・相談したことについて適切に対応を行っている。	73.5	22.4	4.1	0.0	0.0
	6 学校は施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。	28.6	36.7	10.2	2.0	22.4
学習活動	7 「個別の教育支援計画」は、子どもの様子を適切に把握し作成されている。	77.6	20.4	2.0	0.0	0.0
	8 職員の雰囲気がよく、子ども一人一人に応じて、丁寧に適切に指導・支援している。	81.6	16.3	0.0	2.0	0.0
	9 通知表は、子どもの学習の様子を適切に評価できるように工夫されている。	81.6	12.2	0.0	2.0	4.1
	10 児童生徒が、進んで学習活動に取り組めるように、教材や授業の進め方が工夫されている。	67.3	24.5	2.0	0.0	6.1
	11 将来の進路や職業などについて参考となる情報を提供をしている。	40.8	36.7	8.2	0.0	14.3
	12 家庭や地域と連携・協力した学習活動が展開されている。	36.7	42.9	8.2	2.0	10.2
健康安全	13 健康な生活を送るため、保健指導や健康教育が行われている。	55.1	36.7	4.1	0.0	4.1
	14 新型コロナウイルス感染症対応に関して、安全安心な対策が行われている。	61.2	30.6	6.1	0.0	2.0
	15 給食(舎食)は、子どもが食べやすく栄養を考えて提供されている。	61.2	20.4	0.0	2.0	16.3
	16 火災・地震避難訓練や不審者侵入対策及び交通安全への対応を十分行っている。	46.9	34.7	0.0	0.0	18.4
	17 登下校に関して、送迎時の駐車場誘導は安全に行われている。(スクールバスの運行は安全に行われている。)	54.0	28.0	0.0	0.0	18.0
その他	18 学校の徴収金等は、明朗な会計処理が行われている。	63.3	22.4	2.0	0.0	12.2
平均		60.8	28.0	2.8	0.6	7.8

〈令和4年度 学校評価 じどう生徒用 アンケート〉

◎：よくあてはまる ○：ややあてはまる △：あまりあてはまらない ×：まったくあてはまらない ?：わからない

24/24名 単位：% 一人=4.17%

	NO	アンケート項目 (こうもく)	◎	○	△	×	?
学校や先生に関すること	1	がっこう いくのが楽しい。	45.8	29.2	8.3	12.5	4.2
	2	ともだちは優しく、仲良く過ごすことができている。	62.5	33.3	4.2	0.0	0.0
	3	がっこうでは、いじめや暴力がない。	80.0	8.0	8.0	0.0	4.0
	4	せんせい げんきで明るい。	70.8	25.0	0.0	4.2	0.0
	5	せんせい ことばづかいがよい。	70.8	16.7	4.2	0.0	8.3
	6	せんせい は、よくほめてくれる。	62.5	29.2	4.2	0.0	4.2
	7	担任の先生以外にも、気軽に相談や話のできる先生がいる。	58.3	12.5	16.7	4.2	8.3
	8	(小学部)文化祭・運動会・宿泊行事などの学校行事は、楽しみである。	62.5	16.7	0.0	8.3	12.5
	9	(小学部)児童会活動は、いろいろな活動があり楽しい。	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5
	10	(中・高等部)生徒会活動は、いろいろな活動や交流を工夫して行うことができている。	58.3	20.8	8.3	4.2	8.3
授業に関すること	11	先生方が教え方を工夫してくれるので、授業がわかりやすい。	70.8	25.0	0.0	0.0	4.2
	12	先生は、授業でわからないことをいねいに教えてくれる。	62.5	25.0	4.2	0.0	8.3
	13	先生は、命の大切さや社会のルールについて教えてくれる。	62.5	12.5	12.5	4.2	8.3
	14	授業では、自分の考えをまとめたり発表したりする活動がよくある。	54.2	25.0	8.3	0.0	12.5
	15	授業では、友だちと話し合いや相談などをする活動がある。	41.7	33.3	12.5	0.0	12.5
	16	(小学部)授業では、実習や物づくり、実験などの体験学習があり楽しい。	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7
	17	(中・高等部)授業では、実習や物づくり、観察・実験などの体験学習がよく取り入れられている。	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7
	18	授業では、先生方がパソコンやiPadなどを使いながら説明したり、自分で使ったりしている。	70.8	20.8	8.3	0.0	0.0
	19	(小学部)自分の将来の夢や目標を持っている。	50.0	37.5	8.3	0.0	4.2
給食・安全に関すること	20	(中・高等部)自分自身の将来を考える時間がある。(キャリアパスポートを活用している)	58.3	25.0	8.3	0.0	8.3
	20	校外学習や他校との交流、オンライン学習などがあり、内容も工夫されていて楽しい。	66.7	20.8	12.5	0.0	0.0
	21	給食は栄養が考えられていて、おいしい。	58.3	25.0	16.7	0.0	0.0
	22	地震や火事のはきはどうか授業などで習い、よく知っている。	58.3	29.2	4.2	4.2	4.2
	22	コロナにかからないよう、手洗いや消毒、マスクをすること、密にならないことなどを、みんなで気をつけることができている。	58.3	29.2	4.2	4.2	4.2
		平均	60.3	23.3	8.1	1.9	6.4

令和4年度 学校関係者評価(学校評議員用)

県立鏡が丘特別支援学校学校評議員による学校評価は、以下の通りです。

【評価方法】

各評価項目ごとに、下記の評価基準でチェックし評価をお願いします。

A	十分に適切な評価がなされている	C	あまり適切な評価になっていない
B	適切な評価がなされている	D	評価結果に対する検討が必要

1. 学校経営に関する評価（学校評価集計結果 p1 No1～7の質問結果に該当）

	評価項目	A	B	C	D
評価1	教育目標の達成に向けての取組や職員の協働体制について具体的評価項目を設定し、評価されているか。	2	2		
評価2	家庭や地域への情報発信について具体的評価項目を設定し、評価されているか。	0	3	1	
評価3	業務改善や施設整備の改善について具体的評価項目を設定し、評価されているか。	2	2		
評価4	<p>★学校経営に関する評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○施設設備に関しては予算等が伴うのですぐに改善というわけにはいかないと考えるが、予算を待つのではなく、今できることを具体的に考え、教職員、保護者を含めて考えていくことも大切ではないでしょうか。</p> <p>○教育目標については事務・現業の業務の方々と評価のしづらさがあると思います。それをどう理解して評価してもらっているのかを第三者に分かるように説明して欲しいです。</p> <p>○業務改善や施設整備改善の項目は学校の努力だけでは解決できない面がありますので、行政とのやりとりの過程状況もお知らせする資料等があると伝わりやすいかと思います。(学校関係者の方々にはお伝えしているのかもしれませんが)また、評価内容に「具体的評価項目を設定して」の部分ですが、各部署においては細目があると思いますが、内部評価項目では、具体的にすると、評価を難しく考えてしまいませんか？</p> <p>○家庭への発信は各担任・担当からの情報提供が充実していると思います。でも地域への発信はホームページの活用を期待します。</p> <p>【ご意見を受けての今後の方針】</p> <p>○次年度以降の空調改修工事にあたっては、各部署から具体的な要望を挙げています。空調以外の施設設備については、ご助言頂いた通り、今できることをチーム全体で考え取り組んで参ります。</p> <p>○学校評議員会における説明の方法や内容について工夫・改善を図って参ります。ホームページのさらなる活用についても、分析・考察で示したとおり具体的な対応を図って参ります。</p>				

2. 学習活動に関する評価（学校評価集計結果 p1 No8～13の質問結果に該当）

	評価項目	A	B	C	D
評価5	個別の教育支援計画、個別の指導計画の活用について具体的評価項目を設定し、評価されているか。	3	1		
評価6	児童生徒の実態を把握した授業改善について具体的評価項目を設定し、評価されているか。	2	2		
評価7	進路指導を含めた家庭や地域社会との連携・協働について具体的評価項目を設定し、評価されているか。	2	2		
評価8	<p>★学習活動に関する評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○今年度の授業改善の工夫点や通知表の適切な評価の工夫点を第三者に分かるように資料等で今回の評議員会の時に提示してもらえると評価がしやすいと思います。</p> <p>○評価の項目における内部評価の△が3項目で高くなっていますが、その改善を期待します。できれば、次回お知らせください。</p> <p>【ご意見を受けての今後の方針】</p> <p>○上記二点について、第3回学校評議員会にて資料を提示し具体的な説明を行います。また、次年度に向けた具体的な方策については分析・考察に記載しています。</p>				

3. 健康安全に関する評価（学校評価集計結果 p1 No14～17の質問結果に該当）

	評価項目	A	B	C	D
評価9	本校の実情を踏まえた健康・安全について具体的評価項目を設定し、評価されているか。	4	0		
評価10	<p>★健康安全に関する評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○火災・地震避難訓練に対してですが、PTA役員の方々と連携して、保護者さんの意識調査から始めると良いと思います。よろしくお願います。</p> <p>【ご意見を受けての今後の方針】</p> <p>○OPTAの方でも防災バッグ等の在り方についてアイデアを出して頂いています。担当部署と調整し、意識調査等の実施について具体的な内容を検討して参ります。</p>				

4. その他の項目に関する評価（学校評価集計結果 p1 No18～20の質問結果に該当）

	評価項目	A	B	C	D
評価11	明朗な徴収金等の会計処理について具体的評価項目を設定し、評価されているか。	4	0		
評価12	校内研修について具体的項目を設定し、評価されているか。	3	1		
評価13	法令遵守や児童生徒の人権保護について具体的評価項目を設定し、評価されているか。	1	3		
評価14	<p>★その他の項目に関する評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○その他の項目の設定内容が良いと思います。ただ、児童生徒の人権保護を問われると、評価項目には具体的には示されてはいないと思います。ご検討ください。</p> <p>※それと、他の項目を含め、少数ではあるものの「？」の回答がいらっしゃるのが気になります。学校評価の主語の確認をした上で各自実施していると思うのですが、各自で評価する時に評価を迷ったり、不安になったりする時に主語にブレがないですか？自分自身に自信がなくなったり、同僚をイメージしたりして「鏡が丘特別支援学校」が主語でなくなっていないでしょうか？…と、気になりました。</p> <p>【ご意見を受けての今後の方針】</p> <p>○ご指摘の通り、人権保護に関する具体的項目が未設定のため、次年度新設します。「？」については分析及び考察に対策を示していますが、今後も実態を把握するために「？」の選択肢を設けるか、是か非か二者択一にすべきかは、学校評議員の皆さんからもご意見を伺い、方向性を決めて参ります。</p>				

5. 保護者、児童生徒の回答に対応する評価（学校評価集計結果 p5・p7 の質問結果に該当）

	評価項目	A	B	C	D
評価15	保護者、児童生徒の意見や要望が聞き入れられ、改善に向けての学校の姿勢がみえるか。	0	3	1	
評価16	<p>★保護者、児童生徒の回答に対応する評価について、ご意見や改善策があればご記入ください。</p> <p>○保護者さんの回収率がなかなか上がらないのが気になります。でも、半数近くにはなっているのは、ありがたいですね。保護者の方々の「？」は、学校の情報を把握するには日頃でも大変だと思うので、コロナ禍においては、更に厳しいかと思えます。</p> <p>○子供達の思いが、学校運営に反映されると素敵だと思います。△や×の子の思いを具体的に拾えるといいですね。</p> <p>【ご意見を受けての今後の方針】</p> <p>○回収率については、回答期間内に複数回呼びかけるなどして対策を講じて参ります。児童生徒のアンケート結果については、分析・考察も含めて職員会議で共有し、教育活動への着実な反映を図ります。</p>				

6. その他のご意見

その他意見	<p>○学校評価集計結果を拝見し、校長先生、事務長はじめ教職員の皆さん、保護者、児童生徒の皆さんが新型コロナ禍の厳しい状況にもかかわらず、体の不自由な児童生徒とのかかわりを創意工夫しながら、精力的にチャレンジしている姿が目につきました。改めて、学校評価集計表の統計に裏付けられた素晴らしい学校の評議員の一員として誇りに思います。</p> <p>今後もコロナ・オミクロン対策は継続していくと想像されますが、それに伴い教職員の方々の過労が懸念されます。児童生徒のみならず教職員の健康の保持にはくれぐれもご配慮ください。</p> <p>○コロナ禍での体験を活かした今年度の良好な評価を踏まえ、ICTやGIGAスクール構想を視野に入れた鏡が丘特別支援学校の教職員としてのプライドと反省的姿勢を忘れずに「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現」を目指す貴校のさらなる発展を期待しています。</p> <p>【ご意見を受けての今後の方針】</p> <p>○温かいお言葉に感謝申し上げます。令和の時代に入り、新たな教育課題が押し寄せて参りますが、教職員一丸となって取り組んで参ります。</p>
-------	--